

2025.Mar.
Reboot 14



アクセスページ

暮らしネット ClariNet

— 特集 —

当院の医療体制を裏から支える! メディカルクラークを特集!
～新事務長就任のご挨拶もご紹介～



医療法人 徳洲会 古河総合病院

〒306-0041 茨城県古河市鴻巣1555番地 TEL 0280-47-1010(代表)
<https://www.kogahosp.jp/>



新・事務長より皆様へ就任のご挨拶！！



事務長
倉林 光春
MITSU HARU
KURAHAYASHI

このたび、堀井前事務長の後任として、2025 年 1 月から事務長に就任いたしました倉林光春（くらはしみつはる）と申します。2005 年 7 月の開院以来、地域の皆様に支えられ今年で 20 周年を迎えることができました。これからも当院の理念「生命を安心して預けられる病院」「健康と生活を守る病院」のもと、職務に精励し職責を果たせるよう日々努力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。また、今後も当法人の理念「いつでもどこでも誰でもが最善の医療を受けられる社会」の実現を目指し、医療の原点である救命救急医療はもちろん、予防医療や慢性医療から最先医療に至るまで、地域の皆様の要望に応える医療の提供を職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。そして地域の皆様から選ばれる病院づくり、地域の皆様から愛される病院づくりに全力を尽くしていきますので、今後とも地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

外来予約センター（TEL：0280-33-3106）のご案内

外来診療の新規予約・変更、キャンセル、検査日の変更を承ります。

受付時間は平日午後 1 時 30 分～ 4 時までとなっており、直通電話でメディカルクラークが対応しております。

医師が急遽休みとなり、外来診療が休診になる場合も、予約センターで患者様へ連絡をして予約変更を提案する業務も行っております。

着信拒否になってしまう場合がございますので、予約センター直通の電話番号も登録をお願いします。



- 【注意事項とお願い】・診察券をお手元において、お電話ください。 ・当日の予約はお取り出来ません。
・当院受診歴のない方は、予約出来ません。 ・診療科によっては予約が取れない場合がございます。
・時間帯によっては回線が大変混み合い、繋がりにくい状況となっております。
(繋がりがやすい時間帯は、午後 3 時以降ですので、可能な方は午後 3 時以降にお電話ください。)

メディカルクラーク

中田 純菜
JUNNA NAKADA



やりがい、関わる方々からの感謝のお言葉です

古河総合病院で働くようになったきっかけは？

専門学生時代に1カ月間、古河総合病院で実習をしたことがきっかけです。その時はメディカルクラーク室ではなく、医事課での実習でしたが、病院にいる職員の雰囲気がとても良かったことと、どの部署の先輩も声をかけてくれたり、職員同士がすれ違う時に挨拶をしている光景に好印象を抱きました。自分もここで働きたいと強く思えました。

仕事をする上でのやりがい意識していることは？

メディカルクラークは医師と患者様の懸け橋になる職種ですので、医師の要求にも、そして患者様の要望にも応える必要があります。そのため、医師や患者様の双方から感謝のお言葉をかけて頂くことも多く、そこにやりがいを感じます。また、特に患者様に対しては、予約受付、電話対応、外来対応等、常に直接かわらせて頂く機会が多いため、一番話しかけやすい人として、どんどん頼って頂ければとおもっています。また、仕事で意識していることは、ハウレンソウをしつかりすること、テキパキ動くこと、ミスをしないように常に各所とコミュニケーションをとって円滑に業務を遂行することです。病院には様々な患者様がいらっしゃると思いますので、一人ひとりに合わせた対応をするようにも心掛けています。目線を合わせて話す、ハキハキ明るく話すといったことは、常に出来るようにしています。

メディカルクラーク

川島 愛菜
AINA KAWASHIMA



一人ひとりの患者様に合わせた対応を意識

古河総合病院で働くようになったきっかけは？

専門学生の時に医療事務を習っていた中で、古河総合病院に見学に来る機会がありました。実際に院内を見学してみた際に、職員同士の仲が良く、親しみやすい方々が多かったこともあり、凄く好印象を持っていました。

古河総合病院のメディカルクラーク室の良いところは？

人間関係が良いところです。年齢が離れている人たちでもコミュニケーションがしやすく、仕事について相談しやすかったり、仕事以外の話も聞いてもらったり、優しくて面白い先輩方が多いです。

メディカルクラークの仕事のやりがいは？

外来時に医師からオーダーの代行を頼まれた時や、検査案内時に患者様から感謝のお言葉を頂いた時に、やりがいを感じています。医師がいかに効率よく仕事ができるようになるかはもちろん、一人ひとりの患者様に合わせて言葉遣いや、質問の仕方についても臨機応変に変えるようにしています。また、予約センターの電話対応が重なった時は、書類作成や事務作業といった業務が遅れがちになるのですが、電話が鳴らない時間です。仕事の進め方も工夫しています。

メディカルクラーク室
係長

小川 知子

TOMOKO OGAWA

最も大事なことは笑顔で接すること

メディカルクラークという
職種はどんな仕事をする？

メディカルクラーク（医師事務作業補助者）はその名の通り、医師の事務作業の負担を軽減するためにできた職種です。診断書の代行作成、電子カルテの代行入力、診療予約の変更、外来予約センター業務など、業務内容は多岐にわたります。

どんなメンバーが働いているのか？

当院のメディカルクラークは全員女性で、20～30代の若いメンバーから子育て世代まで、幅広い年齢層が在籍しています。院内に託児所があるので、結婚・出産といったライフステージの変化にも柔軟に対応できるのです。長期にわたって働いている社員が多いですね。基本的に明るくハキキとして、同士の仲が良いことも特徴です。また、これは当院ならではかもしれませんが、医師たちとも仲が良く、コミュニケーションが

のとりやすい環境だと思っています。

部署として
最も大事にしていること

毎年、部署として掲げている目標は、「笑顔で接すること」です。患者様とお話しする時の表情、声のトーン、聞く姿勢など、自分が患者様の立場になった時に言われたらいやなこと、されたら嫌なことは絶対にしないと決めています。また、これらは医師や同じ病院の職員に対しても同様の意識で行っています。

最後に
患者様へのメッセージを！

まだまだメディカルクラークという職種が認知・理解をされていないと思っています。ですので、ぜひこれを機にたくさんの方々に知ってもらいたいと思っています。外来対応時には看護師？と間違われることも多いですが、もしもお困りの際には遠慮なく、そして気兼ねなく、話しかけて頂けたらと思います。